

ア ッ プ ル 杯

群馬・富山・埼玉・長野・岐阜の5県による団体戦（主管:JLTF 長野県支部）

岐阜県大会

- 【主 催】 日本女子テニス連盟岐阜県支部
- 【共 催】 各務原市テニス協会
- 【後 援】 日本女子テニス連盟 岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
- 【大会委員長】 藤原 ちえみ
- 【ディレクター】 梅田 宗子 Tel:090-4197-4972
- 【レフェリー】 安藤 千賀子
- 【大会委員】 牧村 洋子
- 【種 目】 女子ダブルス
- 【日 時】 2025年10月14日（火） 予備日10月21日
受付 8:20~8:55 9:00~開会式 終了後試合開始
- 【会 場】 岐阜車体スポーツ広場（砂入り人工芝）各務原市各務山の前町 1-47-1
〒509-0105 各務原市各務山の前町 1-47-1 TEL：058-370-2818
- 【使用球】 ダンロップフォート
- 【試合方法】 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用
本戦 6ゲーム先取、コンソレーション 6ゲーム先取（敗者ボール使用）
ウォームアップはサービス4本とする
セルフジャッジ
- 【参加資格】 オープン(非会員、他県 可)
- 【服 装】 テニスウェア（長ズボン可、ロゴ規定なし、フェイスマスク着用不可）
- 【そ の 他】 ※上位5ペアは、岐阜県代表としてアップル杯に出場していただきます
12月8日(月) 長野県やまびこドームで開催 交通費の補助があります
非会員の方が代表になられた場合は、JLTF 岐阜県支部に入会していただきます
本大会はすべてのプレイヤーを公平に扱います

試合中に発生した傷害についてはその場で対応はしますが、それ以後の責任は
負いません

天候等やむを得ない事情により変更されることがあります

◎天候不良による中止や緊急の連絡は JLTF 岐阜県支部ホームページに掲載します
この大会で得た個人情報は大会以外の目的には使用しません

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はローピングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、一人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こっていないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があつた場合は第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはローピングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・ 試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・ 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはローピングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることとはできない。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

レフェリー（コート付近の通路にいます）を呼んでください。

アップル杯 岐阜県大会

2025. 10 14

SF

F



